



5月号

麻布幼稚園だより

令和7年4月30日
港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

新学期が始まり1か月が経って

園長 佐藤 幸子

新緑のまぶしい季節となりました。新学期が始まり、1ヶ月が経とうとしています。園庭には、大きな鯉のぼりに加えて、うめ組のつくった鯉のぼりが元気に泳いでいます。子どもたちも鯉のぼりが泳ぐ姿をうれしそうに見たり、手を伸ばしたりしています。

さて、うめ組の鯉のぼりは、3、4人のグループで、友達と色や模様を相談しながら決めて、力を合わせてつくりました。初めての協同製作なので、相談しやすいようにいくつかの選択肢から選んで決められるようにしていました。少人数の中で自分の考えを出したり、友達の考えを受け止めたりして折り合いをつけていく経験となりました。自分たちのつくった鯉のぼりが、泳ぐ姿を見て「これは、私たちがつくったんだよ」「僕のは、あの端のだよ」とうれしそうに教えてくれました。

うめ組は、登園を5分早くしてみかん組に身支度の仕方を教えたり、身体測定のお手伝いしたりもしました。初めは全部やってあげることもありましたが、「自分でできるといいね」という声掛けで、年少児のことを考えて自分でできるようにしたり、優しく関わったりする姿が見られました。こうした経験を積み重ねて、年長としての自覚をもっていきます。保護者の皆様には、早い登園にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

進級、入園で集団が大きくなったすみれ組も、虫かごをもって大好きな虫をみつけたり、積み木で車や家をつくったりしてそれぞれの遊びをみつけて遊ぶことが楽しくなってきました。

みかん組の子どもたちも保育園や砂場で遊びながら大好きな先生と一緒に過ごすことが楽しくなっています。

これからゴールデンウィークもありますが、教職員一同子どもたちを受け止め、楽しい園生活にしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



うめ組の鯉のぼり



積み木で場づくり(すみれ組)



砂場も楽しい(みかん組)